

【学校名】登別市立幌別東小学校
【活動の名称】 いじめ防止に関する取組
【活用した資源】児童会活動
【対象学年と活動の時期】児童会を中心とした全学年


(項目イー観点②絆づくり)

【活動の概要】  
・「いじめのない学校」を児童会のスローガンとして定め、各専門委員会が必ず一つ「いじめの未然防止」に関する取組を実施する。

【ねらい】  
・児童一人一人がいじめのことを自分のこととして考え、いじめ未然防止に向け「全校みんなが仲良しの学校づくり」に、主体的に取り組む態度を育む。

【活動の流れ】  
①児童会三役で「いじめのない学校」を意識した今年度の児童会スローガンを作成する。

今年度の児童会のスローガンを児童玄関ホールに掲示しています。



②拡大代表委員会でスローガンを決定し、いじめの未然防止に関する取組を各委員会で取り組むことを周知する。

③各委員会で話し合い、企画、実行する。

【今年度の主な取組】

- 三役・代表委員会・・・「朝の挨拶運動」、「キラキラ輝くあいさつメッセージ」、風船バレー大会
- 文化委員会・・・読書週間の中で「いじめ防止に関する本の読み聞かせ」、読書クイズ大会
- 健康委員会・・・「全校遊びの日」、「全校給食交流会」
- 放送委員会・・・昼の放送を活用し、「いじめ防止に関する本の読み聞かせ」

「文化委員会による全学年が真剣に聞かれています。」



「三役・代表委員会による『キラキラ輝くあいさつメッセージ』～自分の学年だけでなく、他の学年や先生方でも、挨拶がよかった友達にメッセージを送ります。」



「健康委員会による『全校給食交流会』兄弟学年や先生方も交え、楽しく給食を食べます。」



「三役・代表委員会による『風船バレー大会』～風船を使うことで、低学年も楽しめるように工夫しています。チーム名を決めたり、練習したりするなどして、異学年が仲良く活動します。」

④2月の児童総会で活動反省を行う。

※児童会の中でも、「いじめの未然防止」に向けた自分たちの活動を振り返ることで、さらに意識を高めていけるようにする。

【本活動における成果等（留意点含む）】

- ・「いじめの未然防止」というねらいを教師が意識しながら、指導や支援を続けてきたことにより、児童が主体的に「いじめのない学校づくり」を意識した取組を企画し、実行できるようになってきた。
- ・日常的に全校児童が一緒になって遊ぶ様子や、上級生は下級生に優しく接し、面倒を見る姿が見られるなど、学年を超えた児童の絆や居場所ができた。

【学校名】浦河町立浦河小学校
【活動の名称】いじめについて考える集会
【活用した資源】児童会「いじめについて考える集会」運営委員会
【対象学年と活動の時期】全学年 6月


(項目イー観点②絆づくり)

【活動の概要】

- ・児童会の「いじめについて考える集会」運営委員会が中心となり、全児童が一堂に会し、いじめに関わるテーマについて、意見交流を行う集会を実施する。
- ・主に、1年生から6年生までの全学年の児童混合で構成された縦割り班で活動する。

【ねらい】

- ・異学年同士でいじめの問題について意見を交流することにより、いじめを未然防止するために主体的に行動しようとする態度を育成する。
- ・学校生活の充実に向け、自ら人間関係を深めようとする態度を育成する。

【活動の流れ】

【「いじめについて考える集会」実施までの流れ】

- ①「いじめについて考える集会」運営委員会が、昨年度実施した「交流を深めるんだから集会」の成果と課題を踏まえて、今年度の集会の内容を検討する。
- ②運営委員会の提案により、各学級で、「どのような行為が、いじめだと思うか」について話し合う。



〈各学級の発表〉

【「いじめについて考える集会」の流れ】

- ①各学級の代表が、話し合った「いじめだと思う言葉や行動」を3つずつ発表し、運営委員が、「いやがらせ」、「暴力」、「言葉」の3つに分類する。
- ②異学年混合の縦割り班に分かれ、「いやがらせ」、「暴力」、「言葉」について、「具体的にどのような行為がいじめか、悪ふざけか」について話し合い、班長が全体に発表する。
- ③運営委員が、発表の内容をまとめ、いじめを未然防止する行動宣言を全児童に提案する。



〈異学年混合による意見交流〉

**行動宣言**

- ・人のいいところを見つけよう
- ・思ったことをやさしく伝えてみよう
- ・相手の思っていることを考えよう

【「いじめについて考える集会」実施後の流れ】

- ①各学級で全児童が、「いじめのない学校にするために、自分にできること」について考え、木の葉形のカードに書く。
- ②全児童のカードを貼り合わせて「いじめ0（ゼロ）の木」を作成し、全児童が通る廊下に掲示する。



〈行動宣言の発表〉



〈いじめ0（ゼロ）の木〉

- 人の悪口やいやがることを言っている人がいたら注意するようにします。
- いじめられている人や仲間はずれになっている人がいたら、勇気を出して手をさしのべてあげます。
- いじめは人を傷つけることになるので絶対にだめだと思ふから、私は絶対にしません。

【本活動における成果等（留意点含む）】

- ・いじめについて、学校生活の実態に基づいたテーマを設定し、全児童による意見交流を行ったことにより、学校全体でいじめを未然防止するために進んで行動しようとする気運を高めることができた。
- ・異学年混合の縦割り班で意見交流を行ったことにより、意見の多様性について理解を深め、互いに認め合う態度を育成することができた。
- ・異学年混合による意見交流のテーマについては、低学年が考えやすく、高学年が考えを深めることができる内容に工夫する必要がある。
- ・本集会で提案されたいじめを未然防止するための行動宣言について、児童が主体となって、実践の状況を検証し、よりよい学校づくりに取り組むよう促していく必要がある。



【学校名】木古内町立木古内小学校
【活動の名称】 いじめ根絶スローガン・標語づくり
【活用した資源】児童会活動
【対象学年と活動の時期】3～6年生（7月）全学年（12月）

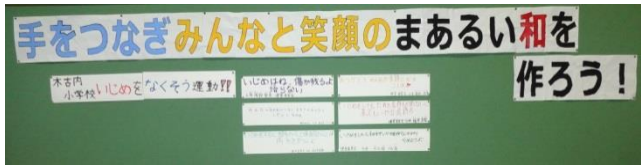

（項目イー観点③環境づくり）

【活動の概要】  
児童会運営委員会や生活委員会が中心となっていじめ根絶の標語を募集し、校内に掲示する。

【ねらい】

- ・一人一人がいじめ根絶の願いをもつ意識を高める。
- ・作った標語を掲示することにより、校内環境の充実を図る。

【活動の流れ】  
①児童会運営委員がいじめ根絶スローガンを作成し、全校児童に紹介する。

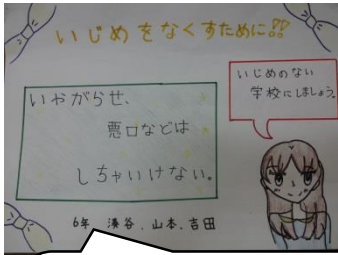


スローガンと運営委員が各自で作った標語を校内に掲示

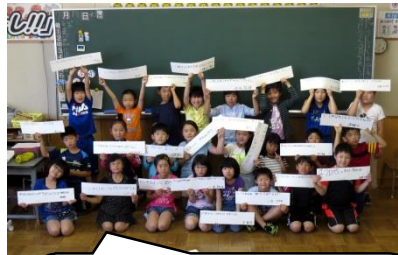
- ②生活委員会で「いじめをなくそう！みんなのメッセージ大会」と題し、いじめ根絶の標語を募集する。（7月）
- ③3年生以上の児童が、いじめ根絶の標語をポスター形式で作成する。
- ④生活委員会で集約し、優秀な作品に賞状を作成して渡したり、校内に掲示したりする。



作品を校内に掲示するとともに、ダイヤモンド賞、金賞、銀賞、銅賞の作品に賞状を渡しました。



応募作品は、グループでの応募も可とし、友達と一緒にいじめについて考える機会となりました。



学級全員で取り組んだことにより、学級全体でいじめを許さない雰囲気づくりができました。

- ①運営委員会で、「いじめをなくそう！inクリスマス」と題し、いじめ根絶の標語を全校児童から募集する。標語はクリスマスの飾りになるカードに書いてもらう。（12月）
- ②全学年の児童が、いじめ根絶の標語をカードに書く。
- ③集まったカードをクリスマスツリーの形にした紙に貼り、掲示する。



いじめは絶対ダメなんだね。



他の学年でも同じ事を考えている友達がいるよ。



学年1つのツリー

【本活動における成果等（留意点含む）】

- ・クリスマスの飾りのカード作成により、児童のいじめ根絶への意識も高まるとともに、数が増えることで校内環境が明るくなるなど相乗効果があった。

【学校名】せたな町立北檜山小学校
【活動の名称】 折り鶴集会
【活用した資源】児童会
【対象学年と活動の時期】全学年 7月


(項目イー観点②絆づくり)

【活動の概要】

- ・全校児童が平和について考え、協力して折り鶴を作成し、広島へ送るとともに、異学年の絆を深める。

【ねらい】

- ・全校で折り鶴を折り、広島へ送る活動を通して平和について考える機会とする。
- ・上級生が下級生に鶴の折り方を教え、縦割りの活動を通して異学年の交流を深める。

【活動の流れ】

- ①児童会執行部が中心となり、「折り鶴集会」の計画を立てる。
- ②平成28年5月にアメリカ合衆国オバマ大統領が広島に訪問した際のオバマさんの折り鶴「心の終戦～第一歩～」の話を児童会執行部が行い、全校児童が聞く。
- ③絵本「おりづるの旅」を児童会執行部が行い、全校児童が聞く。
- ④縦割り班で鶴を折る。
  - ・縦割り班（1グループ8人程度）で上級生が下級生に優しく教えます。



⑤児童会執行部を中心に「折り鶴教室」を休み時間に開催する。

⑥児童会執行部、代表委員を中心に千羽鶴にする。



⑤できあがった千羽鶴を全校児童にも見てもらうためホールに展示する。

当日のプログラム

- 集会の趣旨説明
- オバマさんの折り鶴「心の終戦～第一歩～」の話  
(映像を使用)
- 「おりづるの旅」絵本、「原爆の子の像」の話  
(映像を使用)
- 鶴の折り方説明  
(実物投影機を使用)
- 鶴を折る
  - ・10グループで縦割り班
  - ・高学年が低学年に教える
- 折り鶴教室開催の連絡



広島で飾られている様子

～折り鶴集会を振り返って～

1年生

6年生

上手に折れなくて困っていたときにおにいさん、おねえさんが優しく教えてくれたので上手に鶴を折ることができました。とてもうれしかったです

今回の集会では、オバマ大統領が広島に来ることで平和について更に考えさせられました。それぞれの国の絆を深め、これからも平和になれるように私たちも友だち同士の絆を深められるような集会になって良かったと思います。

【いじめの未然防止に関わる本活動のメリット】

- ・児童一人一人が、相手を思いやるやさしい言葉遣いに配慮するようになった。
- ・挨拶など相手の気持ちになった行動が見られるようになった。
- ・上級生が積極的に下級生のお世話をするようになった。